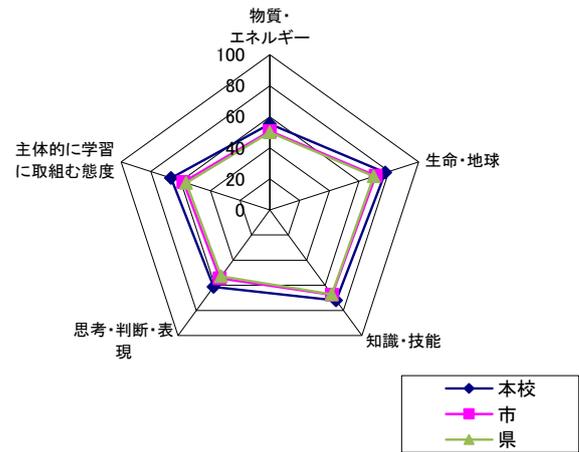


宇都宮市立横川中央小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	55.4	50.8	50.0
	生命・地球	77.6	71.1	69.8
観点	知識・技能	72.1	67.6	67.2
	思考・判断・表現	61.3	54.5	52.9
	主体的に学習に取り組む態度	66.4	58.1	56.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	<p>○物質・エネルギーの平均正答率は55.4%で、県の平均を4.6ポイント上回った。</p> <p>○物の体積と力についての設問の平均正答率は33.0%で、県の平均を0.3ポイント上回った。</p> <p>○物の体積と温度についての設問の平均正答率は55.7%で、県の平均を1.1ポイント上回った。</p> <p>●出題形式により、正答率に差が見られた。択一問題での正答率は高いものの、穴埋めや記述式の問題となると、無解答や類型外誤答が目立った。</p>	<p>・物の体積と力及び物の体積と温度の性質を調べる活動では、観察、実験に関する技能を身に付けるとともに、体感を基にしながら調べられるようにする。また、それらの変化を図や絵を用いて表現するなど、考えたり、説明したりする活動の充実を図ることで、深い理解につなぐことができるようにする。</p>
生命・地球	<p>○生命・地球の平均正答率は77.6%で、県の平均を7.8ポイント上回った。</p> <p>○季節による動物の様子の違いについての設問の平均正答率は79.5%で、県の平均を1.0ポイント上回った。</p> <p>●星座の位置と並び方についての設問の平均正答率は68.2%で、県の平均を0.7ポイント下回った。</p> <p>●方位磁針の使い方についての設問では、正解答よりも誤解答の割合が高かった。</p>	<p>・既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力や主体的に問題を解決しようとする態度の育成に重点を置いて授業を展開していく。さらに、他教科との関連を踏まえながら教科等横断的に進めていくとともに、日常生活とも関連させながら実感が伴う理解につながるような授業の改善を図っていく。</p>